

2022年度通常公募 団体情報シート				
団体名	公益財団法人 南砺幸せ未来基金		団体web サイトURL	https://www.nantokikin.org/
主眼	社会的困難者が役割と希望を再生するコミュニティ活動		申請受付番号	220105
			申請事業の分類①	①草の根活動支援事業
副眼	地域自治力を深化させ持続可能な全世代型地域共生社会を創る		申請事業の分類②	①-2 地域ブロック
			申請事業の分類③	北陸ブロック(新潟、福井、石川、富山)
優先すべき社会の諸課題選択科目				
領域①	1) 子ども及び若者の支援に係る活動		領域②	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動
分野①	① 経済的困難など、家庭内に課題を抱える子どもの支援		分野②	④ 働くことが困難な人への支援
	② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援			⑤ 孤独・孤立や社会的差別の解消に向けた支援
領域③	③ 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動		領域④	-
分野③	⑦ 地域の働く場づくりの支援や地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援		分野④	-
	⑧ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援			-
	-			-
申請事業概要				
<p>昨年度と同様、日常の暮らしの中で生きづらさを感じる社会的困難者を支援する。このため社会的困難者を支援する団体を見出し、「1) 社会的困難者をつながるための多様なアクセス環境の整備、2) 社会的困難者をつながり信頼関係を構築しつつ、対象者がなす役割や働きを見出し、生きがいや希望を持って暮らすための多様なサポート体制づくり、3) 社会的困難者と地域をつなげるために、実行団体が活動する地域自治組織や行政、関係団体などとの協働のネットワークを構築する。」という活動を支援する。これらの活動により、地域における複雑化した社会課題を解決するために人と人、組織と組織、人・組織と資金等をつなぎ社会関係資本を拡張し重層化する。結果、住民自治組織のベースのもと地域の多様な主体が参画し、世代や分野を超え、ヒト・モノ・情報・志金をつなげて、社会的困難者をはじめとした住民一人ひとりの暮らしを支える状態になり、誰もが他人のことを自分ごとで思い支え合える全世代型地域共生社会と持続可能な地域づくりの実現を目指す。また、これまで3市で蓄積した知見を新たにコンソーシアムを組む北陸地域で活用すると共に、市域レベルの新たなコミュニティ活動で得られる知を集積、知見とし、北陸に拡大すると共に全国に発信する。</p>				

団体組織情報		
1	●設立・法人取得年月日	
	設立年月日	2019/02/01
	法人格取得年月日	2019/02/01
2	●団体概要	
	団体概要	275名からの寄附を基本財産に、2019年2月1日に一般財団法人として設立し、同年12月1日に公益財団法人に認定された。地域課題の解決及び公益活動に対する 1) 調査研究、情報収集 2) 事業化に向けた相談及び支援 3) 資金等の資源を募り、また確保する 4) 諸主体を支援したい者に対する相談事業 5) 助成及び資源の提供事業 6) 休職預金採択団体の伴走支援を行う。七尾市の団体も同様な活動を実施したり準備をしている。
3	●代表者情報	
	代表者名	南 真司
	代表者の役職	代表理事
	代表者名 2	
	代表者の役職 2	
4	●役員	
	役員の数	26人
	(その内) 監事/監査役・会計参与の人数	2人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	1人
5	●事務局職員	
	職員・従業員合計	5人
	以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期	0人
	常勤・有給・無期	1人
	常勤・無給(有期・無期)	0人
	非常勤・有給・有期	2人
	非常勤・有給・無期	1人
	非常勤・無給(有期・無期)	1人
6	●資金管理体制	
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	異なっている
7	●区分経理・帳簿	
	1.必要な会計帳簿が備えられている	はい
	2.業務別に区分経理ができる体制である	はい
8	●監査	
	年間決算の監査を行っているか	①監事を実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	3団体
2	前年度の助成総額 (円)	48,697,700円
3	助成事業の実績内容	
	1) 頑張る人・地域応援事業 2) コロナ禍緊急支援 3) 事業指定寄付プログラム 4) 2020年度通常枠草の根活動支援助成 (全国) "ローカルな総働で孤立した人と地域をつなぐ" 5) 2021年度通常枠草の根活動支援助成 (全国) "生活困難者を支えるローカルアクション"	